

建災防北部分会と合同パトロールを実施

全国安全週間中の令和元年7月3日、名護労働基準監督署は、建設業労働災害防止協会沖縄県支部北部分会と共に、北部地区の建設現場に対する合同パトロールを実施しました。

名護地方合同庁舎にて行われた出発式では、建災防北部分会長挨拶、名護署長挨拶が行われ、また、建災防沖縄県支部の與那嶺専務理事から、建災防沖縄県支部が作成した資料を基に、沖縄県内の労働災害の発生状況や労働災害防止対策のポイント等に関する説明がありました。

出発前には参加者全員で今年度の全国安全週間のスローガン



出発式の様子

新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場

を指差唱和しました。

その後、午前中は瀬底島で施工中の「大成建設株式会社（仮称）沖縄瀬底プロジェクト新築工事」の現場を全員で視察し、最新の機器等を取り入れた現場の安全管理を確認しました。

午後からは3班に分かれ、名護市、本部町、今帰仁村内の各現場をパトロールしました。現場内を巡視しながら、事故につながるおそれのある箇所については責任者等に説明し、改善を求めました。

パトロール終了後は名護地方合同庁舎に戻り、会議室にて講評会を行い、パトロール中に撮影した写真をスクリーンに映しながら、現場で改善を求めた箇所や現場で見つけた好事例等を報告しました。

北部地区は建設需要の高まりにより工事が増加しております。また、作業員が不足し、作業に不慣れな新規入場者が増加する等、労働災害の増加要因を抱えているものと思われます。

名護労働基準監督署は、今後も建災防北部支部と協力しながら、労働災害防止に向けた取り組みを継続していきます。



出発前にスローガンを指差唱和